

平成 28 年度第 3 回岩手県企業局経営評価委員会 議事録

次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶（菅原企業局長）
- 3 議 事
 - (1) 平成 28 年度の評価について（実績見込）
 - (2) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

出席者名簿

委 員	岩手県立大学総合政策学部 准教授	泉 桂子	欠席
〃	いわて生活協同組合 常務理事	金子 成子	
〃	一関工業高等専門学校 副校長	郷 富夫	
〃	株式会社浜銀総合研究所 シニアフェロー (公営企業 アドバイザー)	佐藤 裕弥	欠席
〃	盛岡ガス株式会社 取締役総務部長	松川 顕	
企業局	局長	菅原 伸夫	
〃	次長兼経営総務室長	坂本 誠一	
〃	技師長	中屋敷 暢	
〃	業務課 総括課長	細川 普基	
〃	施設総合管理所長	千枝 泰航	
〃	県南施設管理所長	朝岡 薫	
〃	経営総務室 管理課長	及川 立雄	
〃	経営総務室 予算経理担当課長	関口 等	
〃	業務課 事業担当課長 (事業担当 主任主査)	佐藤 宗孝 (山崎 公広)	欠席 (代理)
〃	業務課 電気課長	吉田 悟規	
〃	業務課 土木・施設担当課長	佐々木 雅章	
事務局	経営総務室 経営企画課長	藤原 清人	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	白井 孝明	
〃	経営総務室 経営企画担当 主任主査	赤岩 正昭	
〃	経営総務室 経営企画担当 主査	及川 達也	
〃	経営総務室 経営企画担当 主事	杉本 千春	

(委員 50 音順 敬称略)

(発言者)

(発言内容)

【開 会】

坂本次長

定刻前ではございますけれども、委員の皆様おそろいになりましたので、ただいまから平成 28 年度第 3 回岩手県企業局経営評価委員会を開催します。暫時司会させていただきます企業局次長の坂本でございます。どうぞよろしく申し上げます。

この企業局経営評価委員会は基本的に公開として開催することとしていますし、また、ホームページ等にも掲載しているところでございます。本日は報道関係 1 名も傍聴されております。それではお手元の次第によりまして進行してまいります。開会にあたりまして企業局長の菅原より御挨拶申し上げます。

菅原局長

企業局長の菅原でございます。本日は大変お忙しい中を御出席いただきましてどうもありがとうございます。経営評価委員会は、前回昨年の 11 月に開催させていただきました。平成 28 年度の上半期の評価等について御審議をいただきました。本日は、本年度の実績見込がまとまりましたので、これをもとに評価した内容について御審議いただくことにしております。

企業局の事業についてですが、電気事業は概ね順調でございます。新規開発ということで風力と水力の発電所の建設に取り組んでおります。一戸町の高森地区の風力発電所は、来年度の完成を予定しております。これが運転を開始しますと、全国 26 地方公営企業の中で岩手県が風力発電所規模では全国 1 位になりますし、水力や他の発電を合わせた全体の出力規模でも現在岩手県は 5 番目ですけれども、これが 3 番目になる見込みでございます。

次に、工業用水道事業については、半導体などの大口ユーザーが撤退した以降、需要が伸び悩んでおまして、また企業の方でも節水意識、水をリサイクルして使おうという意識がますます高まっており、そういった意味でも需要が伸び悩んでいます。そのため経営環境は厳しい状況でございますけれども、経営の効率化を図り、今年度につきましてはほぼ目標どおりの数字になる見込みでございます。

私どもとしても、こういった水などの本県の貴重な財産であるエネルギーを有効活用しまして、県民の生活や地域の産業を支えていきたいと考えていますので、引き続き安定供給と安定経営を第一に取り組んでいきたいと思っております。

また、水力や風力、太陽光については、将来にわたって普遍的な価値、環境価値を持っているものと考えており、地球温暖化対策、あるいは災害対策としても重要ではないかと思っております。こういったことを踏まえながら地域への貢献を充実させていきたいと考えております。

それから、本年度は、仮称であります職員育成ビジョンの策定をすすめておまして、前回は現状と課題を中心にご説明させていただきましたが、今回は取組の内容等をご説明することとしております。

本年度の評価とそれから職員育成ビジョンの取組等につきまして、委員の

皆様には様々な観点から御意見をいただきますようお願いしまして、御挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく申し上げます。

坂本次長 本日は、佐藤委員及び泉委員につきましては御欠席する旨、御連絡をいただいているところでございます。それでは以降の議事進行は、郷委員長の方をお願いしたいと存じます。

【議 事】

郷委員長 それでは議事に入ります。本日の議題として「平成 28 年度の評価（実績見込）」について審議を行う予定です。事務局から配布されているタイムスケジュールに沿って進めますので、議事進行に御協力をお願いします。

では、早速資料について事務局から説明をお願いします。説明は電気事業、工業用水道事業、共通的事項に分け、説明・質疑応答を行います。それでは電気事業について説明をお願いします。

(1) 平成 28 年度の評価について（実績見込） < 電気事業 >

資料 1 平成 28 年度 経営評価総括表（実績見込）（案）

資料 2 平成 28 年度 評価の総括（実績見込）（案）

資料 3 平成 28 年度 行動計画取組状況一覧表（実績見込）（案）

参考資料 1 平成 28 年度 供給停止の原因とその対応一覧

郷委員長 説明ありがとうございました。電気事業の部分について、御質問・御意見あればよろしく申し上げます。

松川委員 資料もまとまっており、分かりやすく良いかと思えます。1点お聞きしたいのですが、1 ページの「2 行動計画の主な取組状況」の最後のところで、「4 月から計画値同時同量制度が導入されている」ということで、平成 31 年度以降の売電は、現在の電力会社以外も考えられるということだと思いますが、仮にここが現在と同じ電力会社であったとしても、同時同量の管理を企業局自ら行うことになるのかということをお聞きしたい。

細川業務課総括課長 現在、東北電力に売電しているということで、今は東北電力の大きなグループの中での運用となっているため、企業局自ら管理をしていない状況です。これが引き続き東北電力に売電するというケースですが、現在、そこまで協議が進んではいなく、どうなるかは今後の課題であります。ただ、大きな制度として、発電事業に対して 30 分の同時同量制度が求められていますので、インバランスが発生するかどうかは別としても、30 分同時同量制度をある程度意識し、システムもそれに対応できるようにしておくということを想定しています。

郷委員長 よろしいでしょうか、他になにかありますでしょうか。

金子委員 概ね計画どおり、あるいは上回って進んでいるということでもよろしいと思いますが、1 点だけ、3 ページの供給停止について、個々の事例についての対応、対策が参考資料 1 に具体的に示されており、3 ページのところの「今後の課題」では、「個別の事案の発生要因を分析し、他発電所にも同様の事案が発生することはないか検討し、再発防止に取り組む」とあります。基本的には個々の事案が起きたときには、それに対する対策だけではなく、他にも起きないか検討するのは普通だと思うのですが、この書き方だと「後でやる」というように読めます。実際には対策が終わっており、同じような事案がないか検討されていると思いますので、あえて今後の課題にしなくてもよいのではないかと思います。

細川業務課総括課長 のんびりした書き方にとらえられてしまいましたが、例えば岩洞第一で冷却水の不具合で停止した事象では、当然他の発電所でも同様な事例が発生しないのか確認して、すぐ対応できるものは対応しておりますし、ある程度準備が必要なものは準備した上で行うこととしています。

金子委員 そういう事情であれば、そのように記載していただければよいかと思えます。対策が終わったこと、これからやることを具体的に書いた方がよいかと思えます。

郷委員長 ほかにありますでしょうか。それでは私からですが、同時同量制度への対応で行うシステム改修とは、どのようなことをするものなのでしょうか。

細川業務課総括課長 例えば、発電所ごとに日報を自動的に作成する機能がありますが、これは基本的に 1 時間単位で記録しています。これを例えば 30 分単位に表記するとか、そういったものが必要になるかと思えます。そういったものを想定しながら検討しています。

郷委員長 ありがとうございます。ほかにありますでしょうか、なければ次に、工業用水道事業について説明をお願いします。

(1) 平成 28 年度の評価について（実績見込） < 工業用水道事業 >

資料 1 平成 28 年度 経営評価総括表（実績見込）（案）

資料 2 平成 28 年度 評価の総括（実績見込）（案）

資料 3 平成 28 年度 行動計画取組状況一覧表（実績見込）（案）

参考資料 1 平成 28 年度 供給停止の原因とその対応一覧

郷委員長 ありがとうございます。ただいまの工業用水の説明について御質問・御意見があればお願いします。

金子委員 7 ページの「収入支出の状況」の利益の数字は誤りではないでしょうか。
藤原経営企画 こちらは四捨五入の関係でなったものがございます。
課長

郷委員長 ほかにありますでしょうか、それでは私の方から、6 ページの行動計画の
取組状況のところ、「機器製作の若干の遅れ」とありますが、具体的にどの
ようなことでしょうか。

細川業務課総 旧北上工水の高圧受電盤更新工事は、今年発注をして、現地工事は来年度
括課長 行う予定とし、2 か年で計画しておりました。当初は今年度の 3 月までにあ
る程度機器を工場で作成させ、残りについては来年度現地に持ってきて据え
付けるといった大きな工程を描いていましたが、受注者の工場のスケジュール
の都合がありまして、当初予定していたところまで機器製作が進まないとい
うことが判明しまして、今年の出来形については見込めないという判断をし
たものです。

郷委員長 ありがとうございます。もう一つ、7 ページの今後の課題で「施設の老朽
化」とありますが、先の九州で駅前が陥没したこともあり、企業局の
施設で地震などがあつたら大変と思ひまして、企業局の施設でも、福岡のよ
うなことが起こりうるのでしょうか、なにかしらの補強とか対策が必要とな
るのか、教えていただきたい。

細川業務課総 工業用水道施設の 1 番の課題と考えているのは、送配水管です。特に、第
括課長 二北上工水では約 7 km にわたる送水管を布設しております。その耐震性
をどの程度確保するかということが一つ課題としてあります。送水管全てを
掘り起こして調べるわけにはいきませんが、部分的に掘って調べたところ、
耐震性に不安があるという結果がでておりますので、送水管の更新計画を数
年前に策定し、順次新しい管に入れ替える、あるいは現在使用しているところ
では、給水停止をするわけにはいかないの、バイパスルートを用意した
上で、その部分の布設なり、更新するというようなことを順次進めていると
いうことです。

郷委員長 ありがとうございます。非常に大変なことだと思います。工事でも苦勞が
あるのでしょうか。

細川業務課総 県道とか、国道の脇などに送水管が布設されている所もありますので、ま
括課長 ずは安全ということを確認しながら工事をすすめているところです。

郷委員長 ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうか。

金子委員 以前も聞いたことがあるのですが、契約水量の維持増量に向けた取組で、

本年度のこういう情報収集や関係機関との協議の中で、契約水量が増えそうな傾向があるのかないのかお聞きしたい。

細川業務課総括課長

毎年 9 月の議会で工業用水の決算認定を受けますが、その後各ユーザーを個別訪問し、状況を説明しています。

その際に、会社の工業用水の需要の動向についてお伺いしているところではございますが、残念ながら、明るい展望が見いだせるような話は現在のところございません。

関係機関との情報交換につきましても、北上市、金ケ崎町、県の担当部局が集まり、情報交換を行うということを年 1 回行っていますが、その席上でも、明るい展望は見いだせないという状況が続いております。

郷委員長

使用水量は、車と半導体であれば、半導体の方が使用量は多いのですか。

細川業務課総括課長

使用量であれば、半導体が一番の大口ユーザーとなります。

郷委員長

ありがとうございます。ほかはよろしいでしょうか。

松川委員

7 ページの 3 の問題点にあることは、そのとおりであると思いますが、これは、上記にある「第一北上工水で工事により給水停止した」ということから発生した問題点であり、今後の課題で「給水停止の費用を見込む」ことになったということによろしいのでしょうか。

また、第一北上工水の更新工事の給水停止は、当初の予定では給水停止をしない予定だったのででしょうか。給水停止で計画を若干下回ったということで、数字としては大きいと思ったもので確認させてください。

細川業務課総括課長

工業用水設備の点検では、給水を止めなければならないこともあり、年間 40~50 万円ぐらいは給水停止が発生しています。今回多くの給水停止が発生した工事については、ここに記載しているとおり、監視制御装置の更新工事ということで、自動運転の機能をつかさどる装置の工事となり、どうしても設備の停止をせざるを得ないということがありました。当然、停止時間を極力短くするための工夫をしているわけですが、どうしても給水停止は避けて通れませんでした。結果、金額ベースで 340 万円程度の停止をせざるをえなかったということで、ご覧のとおり経常利益が少ない中でそういった給水停止による減収も大きく収支に影響するということを改めて認識した上で、給水停止の減収を今後見込まなければならないという反省を込めております。

郷委員長

ほかはよろしいでしょうか。なければ次の共通的事項について、説明をお願いします。

(1) 平成 28 年度の評価について（実績見込） < 共通的事項 >**資料 1** 平成 28 年度 経営評価総括表（実績見込）（案）**資料 2** 平成 28 年度 評価の総括（実績見込）（案）**資料 3** 平成 28 年度 行動計画取組状況一覧表（実績見込）（案）**参考資料 1** 平成 28 年度 供給停止の原因とその対応一覧

郷委員長 ありがとうございます。ただいまの共通的事項について御質問・御意見を伺っていきたいと思います。

郷委員長 それではわたしからですが、8 ページの 2 の行動計画のところ、下から 2 つ目に、「携帯電話の充電に利用できる」と書かれています。震災の時に感じたのですが、携帯電話は非常に重要なツールとなっており、災害時などにこれらの充電ができることはとても大事なことで、今回の様に企業局だけではなく、自家発を持っているところで、地域の方々が災害時に充電などを利用できるような仕組みがあればよいと思っています。個人的な意見でした。

ほかに質問はありますでしょうか。なければ、全体をとおして、御質問等ありますでしょうか。

郷委員長 では、なければ今回の平成 28 年度の評価につきましては 1 点、1 ページ目の供給停止の課題取組をもう少し具体的に書かれては、という御意見がありましたので、その点を修正し、確定・公表していただくこととしたいと思います。表現については委員長に一任していただければと思いますが、御異議ありますでしょうか。

（異議なし）

郷委員長 では、議事の（2）その他について、何かありますでしょうか

(2) その他**参考資料 2** 平成 29 年度 経営評価委員会のスケジュール（予定）について

郷委員長 ありがとうございました。ただいまの平成 29 年度のスケジュールについて、御質問・御意見あればお願いします

金子委員 日程についてですが、開催月を決めるということはよいのですが、毎回事務局がその都度日程調整を行うのではなく、よければですが、年間の開催日を先に決めていただくことが可能であれば、そうしていただいた方が、私たちにとっても事務局にとっても良いかと思います。

藤原経営企画課長 大変ありがとうございます。本日御欠席の委員の御意見を伺いまして、その方がよいというのであれば、検討させていただきます。

郷委員長 ほかにありますでしょうか。なければ本日予定していた議題は以上です。事務局から何かありますでしょうか。

【その他】

事務局から、議事録、今後の予定について連絡。

郷委員長 それでは、これで準備した議事は全て終わりとなります。議事進行に御協力いただきましてありがとうございました。それでは残りの進行について事務局へお返しします。

【閉会】

坂本次長 委員の皆様には長時間にわたりまして、御審議をいただきまして、貴重な御意見、御助言を頂戴しまして、ありがとうございました。いただきました御意見については、一部本日の資料を修正させていただきますし、その他、今年度の残りの業務、来年度の事業計画に取り入れて参りたいと思います。それでは、閉会に当たりまして局長から一言御礼を申し上げます。

菅原局長 本日は、大変どうもありがとうございました。単年度を取組としては、本日説明しましたように、概ね順調であるのですけれども、大きな流れとして、今までは、例えば総括原価方式により、ある程度価格が動かないという世界の中で、安定経営が図られてきたわけですが、電気事業も工業用水道事業もそれが変わりつつあるということです。

電気事業では電力システム改革がございますし、工業用水道事業では需要が伸び悩み、国では民間の活用として、コンセッション方式など言われているところであります。私ども企業局の運営も直ちに変わるということではないのですが、将来に向けて、だんだん変わりつつあるという、他の公営でもそのような取組をしている、そういう意識をもって取り組む必要があると思います。

職員育成ビジョンを作った趣旨というのは、そのような当事者意識をもって、経営という観点から取り組んでいく、更に職員が一緒になって、周りのそういったことを考えながら、自分たちの組織をさらに、将来どうしたらよいかということを考えていく、そう意味で「助け合い、チャレンジする組織」と育成ビジョンに書いたわけではありますが、いわば、意識革新をやっていかないと、これからは難しい時代になるのではないかと思ひ、こういったビジョンを作り、職員皆で検討しながら取り組んでいきたいと思っています。

本年度の経営評価委員会は、本日で最後となりますが、また来年度以降委員の皆様御意見をいただき、将来の姿を描きながら今やるべきこと、将来に向けてやるべきことなどについて御意見いただきながら、また進めていきたいと思っておりますので、来年度も引き続きよろしくお願ひしたいと思います。本日はどうもありがとうございました。

坂本次長 それでは、これをもちまして、平成 28 年度第 3 回岩手県企業局経営評価

委員会を終了いたします。ありがとうございました。